

山における 事故防止のために

山菜採りの事故防止に向けて

雪解けを迎え山に入る人が多くなってきましたが、例年、山菜やタケノコ採りに出かけ、道に迷ったり沢に転落する事故が報じられ警察などでは注意を呼びかけています。

日ごろ慣れた山でも、油断すると危険です。楽しいはずの山菜採りが悲しい結果を招くことのないよう行動し、事故防止に向けて次のことを守りましょう。



事故を防ぐためのポイント

- 一人では山菜採りに行かない。
- 家族などに行き先と帰宅予定時刻を知らせる。
- 一緒に山に入った仲間と声を掛け合ったり、ラジオを鳴らすなど、絶えず自分の位置を知らせる。
- 歩いた道が分かるようにテープなどで目印を付けるなど痕跡を残す。
- 集合時間をこまめに設け、頻繁に顔を合わせる。
- 万一来るに備え、目立つ服装を着用し笛や雨具等を携行する。
- クマの出没情報に注意し、クマの痕跡を見つけたら引き返す。

※山菜採りや魚釣りなどでは、クマに人間の食べ物の味を覚えさせないように弁当の食べ残しは必ず持ち帰る。

万一道に迷った時には

- あせらず、落ち着いて自分の位置を確認する。
- 捜索のヘリコプターが見えたら、枝をゆすったりタオルを振るなど合図を送る。※上空から発見されやすい場所があれば、そこに移動する。
- 暗くなったらむやみに歩き回らないで体力を温存する。
- 体温の低下を防ぐため、木陰や岩陰など雨や夜露に濡れない場所で野宿する。



環境課資料より

〈北海道環境生活部自然



ヒグマの情報提供をお願いします

春は冬眠明けのヒグマが活動を始める時期です。また子グマを連れた母クマがエサを求めて野山を歩き回ります。もし、ヒグマの姿や足跡などを発見したときは役場（☎② 2511）またはお近くの駐在所にご連絡ください。

早来駐在所（☎② 2303）、追分駐在所（☎⑤ 2003）、安平駐在所（☎③ 2339）、遠浅駐在所（☎② 2211）